

中央大学特定課題研究費 ー研究報告書ー

所属	文学部	身分	助教 A
氏名	常川 真央		
NAME	Tsunekawa Mao		

中央大学特定課題研究費による研究期間終了に伴い、中央大学学内研究費助成規程第 15 条に基づき、下記の通りご報告致します。

1. 研究課題

（和文）市民は「社会」をどうアーカイブするか？～市民活動におけるウェブアーカイブの利活用プロセスの解明および支援プラットフォームの開発を目的として～

（英文）How do citizens archive "society"? ~Aiming to identify the process of utilizing web archives in civic activities and to develop a support platform～.

2. 研究期間

2022 年度 ～ 2023 年度

3. 研究の概要（背景・目的・研究計画・内容および成果 和文 600 字程度、英文 50word 程度）

（和文）本研究では、シビックテックの活動を支援するウェブアーカイブのモデルを提起することを目的とする。目的の達成のために、シビックテックがどのようにウェブアーカイブを活用するか、そこにはどのような課題があるかを明らかにする。具体的な研究活動として、COVID-19 に関するシビックテック活動を研究対象として、(1)ウェブアーカイブの利活用課程に関するフィールドワークの実施、(2) 活動の成果として生まれたウェブアーカイブコレクションの事例調査の 2 つの方式で研究を行った。2022 年度はウェブアーカイブを活用するシビックテックである saveMLAK covid-19 図書館調査プロジェクトへのフィールドワーク研究を行うと共に、COVID-19 に関するウェブアーカイブの国際事例について文献調査を中心として研究した。その結果から、2023 年度では、ウェブアーカイブを対象とした研究の方法論の検討を行うと共に、既存のウェブアーカイブコレクションの収録ウェブページと収集時期に基づくクラスタリング分析を行った。最終的に、本研究ではウェブアーカイブコレクションにおいて「コロナ禍」がどのような社会事象として定義できるかを、クラスタリングの結果から類型化を行い、ウェブアーカイブプラットフォーム開発のための要求として社会事象の認識を共通化支援という機能要求を導き出した。

（英文）The goal of this study is to propose a model for a web archive that supports civic tech activities.. To achieve the goal, we will clarify how Civic Tech uses web archives. As a result, this study typified what kind of social event the "COVID-19 Disaster" could be defined as in the web archive collection based on the clustering.